

## 平成30年11月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時	平成30年11月26日(月) 午後1時30分		
場 所	市庁本館3階 議会第3委員会室		
出席者	教育長	伊藤	博章
	教育委員	油川	育子
	教育委員	武輪	節子
	教育委員	大庭	文武
	教育委員	築瀬	眞知雄
事務局出席職員	教育部長	吉田	幸司
	教育部次長兼教育総務課長	橋本	淳一
	教育部次長	小笠原	徹
	図書館長	千葉	玲子
	博物館長	古里	淳
	学校教育課長	中村	雅臣
	社会教育課長	工藤	浩範
	総合教育センター所長	本間	孝浩
	教育総務課参事	尾崎	紀子
	学校教育課参事	大坂	吉弘
	西地区給食センター所長	川口	晃司
	社会教育課参事	館合	裕之
	図書館副館長	掛端	真裕美

## 開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、平成30年11月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、油川委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等についてご報告いたします。

### 主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご質問などありましたらお願いします。

(築瀬委員)

周年行事について3点ほど感想を述べたいと思います。

1点目は、周年行事のあった6校では、地域活動や伝統芸能、地域の行事などを大切にしており、地域とのつながりを深めていると感じました。どの学校においても、地域に根ざし、地域とともに歩む学校という共通のテーマを持ち、取り組まれていることが伝わってきて、地域密着型教育の浸透が、そういった随所で感じられました。これからも八戸市の教育の間違いのない方向として、しっかり進めていくべきであると感じました。

2点目は、どの学校も人を大切にしていると感じました。その中でも、一番の主役である子どもたちの姿を通して、先生方の姿や地域の姿、保護者の姿がよく見えてきて、深い愛情が注がれていることが、会場の雰囲気から伝わってきました。会場には、地域住民や保護者の方々も座っていましたが、熱心に周年行事を見ており、感動いたしました。

3点目は、学校というのは、児童生徒数の多さや規模ではないと感じました。小さな学校だけれども、大きな夢、強い志、気持ちがあったり、少人数だけれども、広い心や深い絆を感じられるということがありました。そのようなものが高い目標を達成し、大きな障壁を乗り越えていくということを、一か月間の6校の周年行事を通して感じました。

最後になりますが、教育委員会事務局の方から文書やメールでこまめに連絡をいただいた中で、親身な気遣いや配慮があり温かさを感じました。ありがとうございました。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。

本日は議案の提出がありませんので、報告事項にまいります。

はじめに、「自動車破損事故報告及び損害賠償額の決定について」事務局から説明をお願いします。

### 【自動車破損事故報告及び損害賠償額の決定について】

(橋本 次長兼教育総務課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

次に、「パネル展について」事務局からの説明をお願いします。

### 【パネル展について】

(田茂 是川縄文館副館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

次に、「閑散期（冬期間）における縄文学習館の利用方法について」事務局からの説明をお願いします。

### 【閑散期（冬期間）における縄文学習館の利用方法について】

(田茂 是川縄文館副館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

次に、『八戸藩遠山家日記 第七巻』の刊行について」事務局からの説明をお願いします。

### 【『八戸藩遠山家日記 第七巻』の刊行について】

(千葉 図書館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。

(油川委員)

感想を述べさせていただきたいと思います。

127年間もの長きに渡りまして、日記として記録されていることは、大変めずらしく貴重であり、遠山家日記の重要性というものを改めて感じているところです。特に本刊は、これから大きな変動が起きる前兆である江戸時代の幕末にあたるものであり、ペリー来航や、それに関わる八戸藩の動向を知る手がかりとして期待されるものではないかなと思いました。教科書で学ぶ歴史と八戸藩の動向を結びつけて、歴史を捉え直すと同時に、八戸の先人に思いをはせるきっかけになってほしいなと思っています。一人でも多くの方に触れていただきたいと思います。

(伊藤教育長)

そのほか何かございませんか。

[なし]

以上で、本日の報告を終わります。

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

[なし]

それでは、最後に「その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。

(武輪委員)

主な会議・行事等の資料の中で、11月13日に行われた「2018 ミニボート・プログラム」というのがありますが、こちらの取組について、今年の実況等お聞かせ願いたいと思います。また、昨年はこのボートが太平洋のどのあたりまで確認できているのかという部分も含め、ご説明いただきたいと思います。

(柳谷 教育指導課 青少年グループリーダー)

本年度のミニボート・プログラムの実施にあたりましては、アメリカコロンビア川海事博物館のネイト・サンデルさん夫妻とお子さんがいらっしやいまして、大久喜小学校、種差小学校、金浜小学校の児童が参加した上で、ミニボートの制作を行いました。13日に市長表敬、14日にミニボートの制作、15日にはミニボート3隻を海に進水いたしました。現在は八戸から500キロほど離れた太平洋を漂流しているかなるところです。また、千葉県銚子市の小・中学校でも同じくミニボートプログラムを実施しており、そちらも2隻の船が進水されておりますが、それよりは八戸のボートのほうが、先に進んでいるといった状況です。

昨年度の実況ですが、アメリカから流したボートがハワイ沖まで来ましたが、現在その周辺を漂っている状況です。八戸から流したボートにつきましては、太平洋の3分の1くらいは進みましたが、現在はいずれのボートも確認不能となっております。しかし、サンデルさんの話によると、途切れ途切れではありますが、GPSの信号が届いている状況もあるとのことですので、もしかしたら数年後にどこかで漂着することが考えられるといった状況です。

(伊藤教育長)

流すときは、海流に乗せるために一時間ほど漁船で沖合いまで行き進水しています。ボート自体はなかなか沈まないように出来ているのですが、前回は密閉されたGPSの部分に水が入った可能性があるかもしれません。しかし、先ほど言ったように、たまに去年のボートから信号が送られてくるとのことから、どこかに流れ着く可能性がありますね。ネットでも現在地が確認することができます。

そのほか、なにかございますか。

(油川委員)

今月 19 日に、小学校入学を 5 か月後に控えている年長児 59 名と一緒に、八戸西地区給食センターを見学した際の感想を少し述べさせていただきたいと思います。

所長さんはじめ、センターの皆様が笑顔で出迎えてくださいました。子どもたちは、まず始めに調理をしている様子を拝見しましたが、調理員の方が、子どもたちに手を振ってくださったので、子どもたちもとても嬉しそうに手を振り返しているという姿が印象的でした。次に、給食センターの DVD を見せていただき、キャラクターの登場やクイズ形式になっていたり幼児でも飽きることなく、惹きつけられる構成となっていましたので、20 分程度、集中して DVD を見ていました。その後、釜やしゃもじ、お玉の大きさが分かるコーナーを体験しました。手洗いがきちんとできているかを体験するコーナー「手洗い道場」で手を洗った子どもたちは、手を洗ったのに、爪のところにばい菌がたくさん付いていたと、口々に話していました。最後は、給食センターの方が、「美味しい給食を食べてもらうために一生懸命頑張りますので、皆さんも小学校に行ったら、たくさん食べてくれたら嬉しいです。皆さんが幼稚園で毎日食べている給食も調理員の皆さんが、皆さんのために一生懸命作ってくれていますので、感謝しながら食べましょうね。」という言葉で締めくくってくださいました。

その日は幼稚園の手洗い場がいつもよりも長蛇の列ができておりました。また、子どもたちは「いただきます。」のあとに、「給食の先生に感謝していただきます。」と自ら話していたようです。

昨年、給食センターが完成した際には、ハード面を見学させていただき、素晴らしいなと思いましたが、今回はそこで一生懸命お仕事をなさっている皆さんの様子、ソフト面を拝見し、感銘を受けて帰ることができました。所長さんはじめ、センターの皆様の温かさを感じることができ、ありがとうございました。

(伊藤教育長)

そのほか委員の皆様からなにかございますか。

[なし]

## 閉 会

(伊藤教育長)

それではこれをもちまして平成 30 年 11 月の教育委員会定例会を閉会いたします。

(午後 2 時 9 分閉会)